

# 104-330

## 問題文

一次治療として、ペバシズマブ+CapeOX(カペシタビン+オキサリプラチン)療法が開始となった。薬剤師が行う薬学的関与として適切なものはどれか。2つ選べ。

1. ペバシズマブ投与に伴い、予防的な高血糖対策を実施するように医師に提案する。
2. カペシタビン投与に伴い、手足症候群予防のために厚めの靴下を履くように患者に説明する。
3. オキサリプラチン投与に伴い、冷たいものに触るとしびれを誘発することを患者に説明する。
4. RAS変異が陰性のため、ペバシズマブの開始用量の増量を提案する。
5. *UGT1A1* の遺伝子解析結果から、カペシタビンの開始用量の減量を提案する。

---

## 解答

2, 3

## 解説

選択肢 1 ですが

高血糖が良く知られている分子標的薬は m-TOR 阻害薬などです。ペバシズマブは血管新生阻害なので、高血圧や出血などに注意が必要です。よって、選択肢 1 は適切ではありません。

選択肢 2,3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが

RAS 変異があると、抗 EGFR 抗体薬の利益がないです。とはいえ、本症例での治療で用いられるペバシズマブは、抗VEGF 抗体です。関連ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

*UGT1A1* の変異はイリノテカンを用いる時に考慮します。カペシタビンは関連ありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 2,3 です。